

TCP-D261 TCP-D261BT

UHF デジタル簡易無線電話装置（免許局）

取扱説明書（基本編）



お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

本機は電波法令による無線局の免許を取得して使用する製品です。

TCP-D261BTはBluetooth®搭載モデルです。

株式会社 JVCケンウッド

B5A-3706-00 (J)



操作方法や製品の詳しい説明については、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください

本書は製品の基本的な取り扱いについてのみ説明しています。「オプション機器の取り扱い」、「各種機能の設定」や「故障かな？と思ったら」など、詳しい使い方については、下記のURLや右記のQRコードからアクセスできる「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。



<https://manual.kenwood.com/>

説明上の注釈表記について

! このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

✂ このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

● 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

● 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル **0120-2727-87**
 携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル **0570-010-114**
 一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は **045-450-8950**
 FAXを送信される場合は **045-450-2308**

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
 受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
 受付時間 月～金曜日 9:30～18:00
 土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水が掛かる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 危険

使用環境・条件

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

運転しながら本機を操作（通信）するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

充電池（バッテリーパック）の取り扱いについて

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高压容器に入れたりしないでください。

充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。

指定以外の充電器では充電しないでください。

無線機以外の機器に取り付けしないでください。

火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したりしないでください。

濡れた無線機と電池を充電しないでください。火災や感電の原因となります。

端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

充電池から内部の液体などが漏れている場合は、直ちに使用をやめて、下記のことをお守りください。

! 充電池内部の液体が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

! 充電池内部の液体が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠ 警告

使用方法について

エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たってけがをすることがあります。

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首に掛けないでください。けがの原因となります。

無線機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・やけど・感電・故障の原因となります。

本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。

アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、物に当たって装置が破損したりすることがあります。

! ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。けがの原因となります。

アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災・やけど・けがの原因となります。

本機の付属品や、本機から取り外したものを幼児、子供の手の届くところに置かないでください。あやまって飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がリ、ケースや部品が変形・変色し、火災・やけどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

! 無線機は、充電動作中にバッテリーパックの温度が高くなる場合があります。バッテリーパックを交換するときは、やけどに十分気を付けて取り外してください。

異常時の処置について

内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いが出たりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・やけど・感電・故障の原因となります。

煙が出たら、やけどに注意してすぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

保守・点検

無線機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

使用環境・条件

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

! 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認しなうでご使用ください。

! 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。

! 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。

使用方法について

オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。

ベルトフックに指をはさまないようにご注意ください。

スピーカー/マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

! 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

! 長期間使わないときは、電源を切り、電池を外してください。

! お手入れの際は、安全のため電源を切り、電池を外してください。

イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。

! スピーカーマイクロホンなどを無線機に接続している場合は、音量を下げてください。モニター機能を使用するときの音量に注意してください。

! 充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

! 無線機は、長時間、送信のために使用される場合、本体の金属部分が熱くなるので、バッテリーパックを交換するときなどは、金属部分には手を触れないでください。

! マイクの開口部やスピーカーグリルに水が入ると、音声レベルが不安定になったり歪んだりすることがあります。無線機を操作する前に、無線機を軽く振って、スピーカーやマイクから水を取り除いてください。

! ● 充電器など別売りの外部機器使用時の注意については使用する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より2年間です。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。

保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は下記の料金が必要です。）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。**送料：**郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、工事設計認証を受けた製品です。本機裏面の工事設計認証ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機を分解したり、改造したりして使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用したりすることは電波法により禁止されています。
- 本機は、工事設計認証を受けたアンテナのみご使用いただけます。

免許局運用時のご注意

- **運用上の制限**
 通話は免許状に記載された下記事項の範囲内でおこなわなければなりません。
 1. 無線局の目的
 2. 通信の相手方
 3. 通信事項
 また、免許人以外が運用することは原則としてできません。
- **免許の有効期限**
 免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。
- **再免許の申請**
 引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6か月前から3か月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **免許の申請その他の手続き**
 免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・再免許の申請
 - ・免許状の記載事項に変更が生じる場合
 - ・免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
 - ・無線設備を変更する場合
 - ・無線局を廃止する場合

電波法に関するご注意(つづき)

Bluetooth® 機能に関する表示 TCP-D261BTのみ

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth 機能に関する表示について説明します。

2.4FH1

- 「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「FH」：変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。
- 「1」：想定干渉距離を表します (10 m 以下)。
- 「---」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以下「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフにしたうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

FOSS ライセンス

本装置は下記のライセンスに基づくソフトウェアを使用します。なお各ライセンスはJVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文 (英文) を記載します。

*Md5
Copyright (C) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises. All rights reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty.
In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.
Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch
ghost@aladdin.com

ご使用の前に

ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離 (約 10 m 以内) で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境 (天候や建物などの障害物) によって短くなる場合があります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
※送信出力 5 W 出力時
・市街地: 0.5 km ~ 1 km
・見通しのよい場所: 1 km ~ 4 km
- 本製品は抗菌・抗ウイルスのセルフィール®を加工済です。セルフィール®はニチリンケミカル株式会社の登録商標です。

免責事項について
本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

ご使用の前に(つづき)

音声圧縮 (符号化) 方式について
米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

防塵 / 防水性能について

本機はオプション接続端子の防水キャップを、隙間のないように正しく取り付けられた状態で弊社指定のバッテリーパック (KNB-75LA / KNB-76L) を装着することにより、IPX8 *1 の防水性能と、IP6X *2 の防塵性能を有しています。

- ※ 1 IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1 m のところに無線機を静かに沈め、2 時間放置後、取り出したときに無線機としての機能を有することを意味します。
- ※ 2 IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μm 以下の塵埃 (じんあい) が入った装置に無線機を 8 時間入れてかかはんさせ、取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際のご使用にあたって、すべての状況で防塵 / 防水性能を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水が掛かる環境でのご使用は無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中での使用 (各種操作キーの押下など) は IPX8 の保証対象外となります。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けしてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ (微細な繊維、髪の毛、砂など) を挟んでいないか、ご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものを掛けたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、掛けたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水キャップを開けないでください。
- オプションを使用しない場合は防水キャップをしっかり閉じてください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵 / 防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

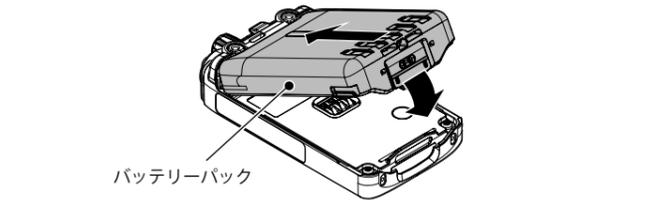
本機の付属品

- 付属品がすべて揃っていることをご確認ください。
- ベルトフック 1
 - ベルトフック取り付けねじセット 1
 - 取扱説明書 1
 - 保証書 1

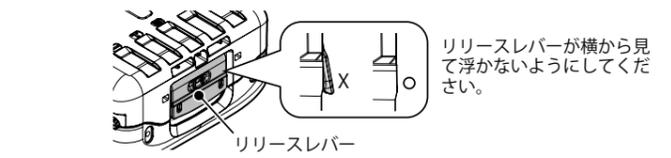
バッテリーパック (別売品) の取り付け / 取り外し

バッテリーパックの取り付け

- 1 バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、バッテリーパックを押し込みます



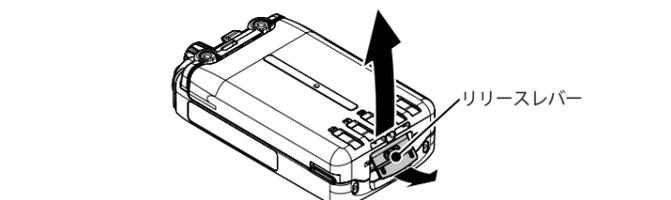
- 2 リリースレバーを本体にロックさせます



- ◆ バッテリーパックを取り付け / 取り外すときは、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

バッテリーパックの取り外し

- 1 バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します



バッテリーパックの特性について

- 充電電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが常温まで冷めてから使用してください。常温の状態でも使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電 / 放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 20 充電式
不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力お願いします。

バッテリーパック使用時間の目安 (Typ.値)

KNB-75LA 使用時	KNB-76L 使用時
約 15 時間 (オン) / 約 13 時間 (オフ)	約 18 時間 (オン) / 約 15 時間 (オフ)

送信出力 5 W で、送信 5 / 受信 5 / 待受 90 の比率にて連続運用した場合の時間です。
*() 内は電池セーブの設定

バッテリーパック残量警告

バッテリーパックの容量が減ると、表示部の「」が点滅し、LED が赤色に点滅し「ブーブ」と警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。
: 十分 : 残量あり : 残量少 (点滅): 残量なし (要充電)

- ◆ バッテリーパックの充電に関しては、取扱説明書 (詳細編) をご覧ください。

ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。
ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかり取り付けてください。

- 付属以外のねじを使用しないでください。
- 時々ねじの緩みがないか確認してください。

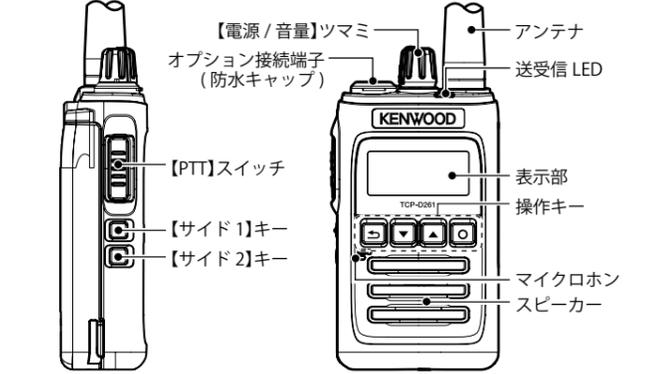
アンテナの取り付け (別売品)

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタへ右 (時計方向) に固定されるまで回して確実に取り付けます。



基本操作

各部の名称

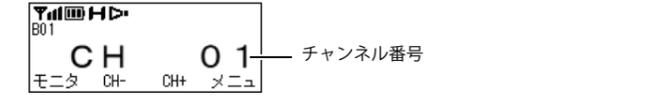


- ◆ 各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。各操作キーの動作は販売店で設定を変更することができます。

通話する

- 1 【電源/音量】を右 (時計方向) に回して電源を入れる
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源 / 音量】を「カチッ」という音がするまで左 (反時計方向) に回します。

- 2 操作キーの【▲】/【▼】を押してチャンネル番号を合わせる



相手局の電波を受信すると、送受信 LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

- 3 【電源/音量】を回す
右 (時計方向) に回すと音量が大きく、左 (反時計方向) に回すと音量が小さくなります。

- 4 【PTT】を押す
送信状態になり、送受信 LED が赤色に点灯します。
 - 他に送信している無線局がないこと (送受信 LED の緑色が消灯していること) を確認してから送信してください。

- 5 マイクロホンに向かって話す
【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から 3 ~ 4cm 程度離してください。【PTT】を離すと待受状態に戻ります。

- ◆ 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。
- ◆ 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください (非常通信など電波法で定める場合を除く)。

- ◆ 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。

仕様

機種名	TCP-D261 / TCP-D261BT
用途	簡易無線機 免許局
周波数範囲	許可された UHF 帯
チャンネル数	65ch (陸上・海上用)
電波型式	F1D / F1E
変調方式	4 値 FSK (デジタル)
送信出力	5 W / 1 W
電源電圧	DC7.4 V ± 10%
内蔵スピーカー出力	700 mW (10%歪)
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃
外形寸法 (突起物含まず)	幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 28.4 mm (KNB-75LA 使用時) 幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 31.8 mm (KNB-76L 使用時)
質量	約 246 g (KNB-75LA 使用時) 約 275 g (KNB-76L 使用時)
アンテナ、ベルトフック、バッテリー含む	
アンテナ端子	SMA-P
防塵・防水性能	IP54 / IP55 / IP67 / IP68

- ◆ 仕様は予告なく変更することがあります。
- ◆ 本製品は種別コード 3B の無線機です。